

各 位

上場会社名	株式会社 エヌ・ピー・シー
代表者	代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号	6255)
問合せ先責任者	専務取締役 廣澤 一夫
(TEL	03-6240-1206)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 10 月 9 日に公表した 2026 年 8 月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

2026 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,014	760	766	531	24.59
今回修正予想(B)	5,811	846	880	481	22.84
増減額(B-A)	△2,203	86	114	△50	－
増減率(%)	△27.5	11.3	14.9	△9.4	－
(ご参考)前期実績 (2025 年 8 月期)	9,272	1,920	1,922	1,325	61.36

2026 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正 (2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,744	685	690	490	22.68
今回修正予想(B)	5,623	807	826	463	21.96
増減額(B-A)	△2,121	122	136	△27	－
増減率(%)	△27.3	17.8	19.7	△5.5	－
(ご参考)前期実績 (2025 年 8 月期)	8,915	1,693	1,696	1,150	53.25

2. 修正の理由

売上高の差異につきましては、第 4 四半期に売上計上を予定していた国内向けの大型案件について、出荷までは予定通り完了していたものの、その後の客先工場における現地調整に時間を要し 2026 年 8 月末までに一部装置の検収が完了しなかったことを主な要因として、減収となる見通しです。それに加え、米国主要顧客向け太陽電池製造装置の改造案件の一部において、並行して行われている大規模な装置の移設作業を優先したことから、2027 年 8 月期への期ずれが発生したことも要因となっています。なお、前述した国内向けの大型案件の一部に関しては、2027 年 8 月期上期に検収が完了する予定であり、期ずれした売上高は同上期に計上される見込みです。減収の一方、利益率の高い案件（移設・改造）があったことに加え、新技術や開発要素を含む案件に

において原価に占める割合の高い材料費を大幅に削減したことで、営業利益及び経常利益は微増となる見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、2026 年 3 月に発表した Gosan Tech 社への出資に関連して取得した株式について、特別損失として投資有価証券評価損 177 百万円を計上することとなりました。なお、この特別損失は出資者側である当社に適用される会計ルールに基づく処理によるものであります。また、本出資の主目的である「ペロブスカイト前工程における当社業績の拡大」に向けては、既に投資額を上回る受注を獲得しており、事業は順調に推移しております。

配当予想につきましては、売上の減少と特別損失の計上は一時的なものであり、事業環境そのものへの影響は生じていないため、期末配当については当初の予定通り 1 株当たり 10 円を維持する方針です。

なお、現時点における 2027 年 8 月期の業績予想は売上高約 100 億円、営業利益は約 13 億円を見込んでおります。精査した金額につきましては、2026 年 10 月 7 日に改めて公表する予定です。

（注）上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上